

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和8年3月31日 (第1回)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	安芸高田市 (34214)
地域名 (地域内農業集落名)	向原地域 (坂1区、坂2区駅通り、坂2区本通り下、坂2区本通り上、坂3区、坂4区、坂5区、坂6区、坂7区、坂8区上、坂8区下、坂9区、坂10区、坂11区、坂12区、坂13区、坂14区、坂15区上、坂15区下、坂16区、戸島1区、戸島2区、戸島3区、戸島4区、戸島5区、戸島6区、戸島7区上、戸島7区下、戸島8区、戸島9区、長田1区、長田2区、長田3区、長田4区、長田5区、長田6区、長田7区上、長田7区下、長田8区、有留1区、有留2区、有留3区、有留4区、有留5区、有留6区、有留7区、保垣1区、保垣2区、保垣3区、保垣4区、保垣5区)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	625.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	622.5 ha
② 田の面積	541 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	84.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	342 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>本地域は、市南東部、江の川水系戸島川及び太田川水系三篠川流域に位置している。農用地は海拔250~400mに分布し、ほとんどが山間棚田である。</p> <p>農用地の利用は田が中心で、水稲を基幹とした野菜(白ネギ、アスパラガス、施設野菜)等の経営が営まれているほか、はぶ草茶等の特産品もみられ、野菜等は直売所での販売もされている。</p> <p>ほ場整備率は市内で最も高く、生産基盤整備はほぼ完了している。</p> <p>また、畜産では、採卵鶏の企業的経営体もみられる。</p> <p>法人・担い手による水稲経営や園芸作物の取組みが行われていたが、水稲中心の法人の解散等により管理できない農地が増加しつつあるため、あらためて担い手の育成が急務となっている。</p> <p>市内全域でシカやイノシシによる農作物被害が多く、鳥獣被害対策が農業者の大きな負担となっている。</p>

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>法人等の担い手農家の経営安定化や水稲や園芸作物経営(野菜等)を推進するため、農地中間管理事業を活用し、担い手へ農地を面的に集積し、担い手が連担的な条件下で効率的な生産が行えるよう努める。</p>
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸し付けを進めつつ、担い手(認定農業者・法人等)への農地の集積・集約化を基本とする。また農業を担う者へも効率的な農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	19.3	%	将来の目標とする集積率
			34.0 %

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標
農地中間管理機構を活用し、農業者の経営状況に応じて段階的に集約化を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、法人等の担い手へ農地の集積、集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業委員や農地利用最適化推進委員による地権者の貸付意向の把握及び調整を推進し、農地中間管理機構を通じた利用権の設定及び農地の集約化を推進する。
(3)基盤整備事業への取組
地域の意向、法人等担い手の意向を踏まえ、必要に応じて検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
法人等の担い手を育成するとともに、周辺地域や関係機関と連携し、新規就農者の受け入れや地域外からの参入者についても検討していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現在は未定である。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)									
✓	①鳥獣被害防止対策	✓	②有機・減農薬・減肥料	✓	③スマート農業		④畑地化・輸出等		⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等	✓	⑦保全・管理等		⑧農業用施設	✓	⑨耕畜連携等		⑩その他
【選択した上記の取組内容】									
①有害鳥獣の侵入防止柵の設置・修繕などに継続的に取り組み農業被害を抑制するとともに、被害状況によっては捕獲班と連携し速やかに対応を図る。									
②特別栽培農産物、環境保全型農業などの取り組みを関係機関と連携し支援していく。									
③スマート農業などの新しい技術を活用し、作業効率の向上や省力化を図る。									
⑦日本型直接支払制度事業に継続的に取り組み、農地の保全管理と農業用施設の維持管理を図る。									
⑨飼料作物を地域内の畜産農家等へ供給しつつ、市内堆肥センターで生産される堆肥の活用を促進する。									

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和12年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

(別紙)

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和12年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
利用者		水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	225	
利用者		水稲	1.1 ha	ha	水稲	1.1 ha	ha	226	
利用者		水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	227	
利用者		水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	228	
利用者		水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha	229	
利用者		水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha	230	
利用者		水稲	2.0 ha	ha	水稲	2.0 ha	ha	231	
認農		水稲	8.8 ha	ha	水稲	8.8 ha	ha	174	
認農		水稲	7.6 ha	ha	水稲	7.6 ha	ha	175	
認農		水稲	34.9 ha	ha	水稲	34.9 ha	ha	176	
認農		水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha	177	
認農		水稲	7.6 ha	ha	水稲	7.6 ha	ha	178	
認農		飼料作物	4.0 ha	ha	飼料作物	4.0 ha	ha	179	
利用者		水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	180	
利用者		水稲	1.4 ha	ha	水稲	1.4 ha	ha	181	
利用者		水稲	19.0 ha	ha	水稲	19.0 ha	ha	182	
認農		複合経営	4.0 ha	ha	複合経営	4.0 ha	ha	183	
利用者		水稲	1.9 ha	ha	水稲	1.9 ha	ha	184	
利用者		水稲	34.7 ha	ha	水稲	34.7 ha	ha	185	
認農		水稲・施設野菜	8.2 ha	ha	水稲・施設野菜	8.2 ha	ha	186	
認農		養鶏	0.0 ha	ha	養鶏	0.0 ha	ha	187	
認農		養鶏	0.0 ha	ha	養鶏	0.0 ha	ha	188	
認就		飼料作物	3.0 ha	ha	飼料作物	3.0 ha	ha	189	
利用者		水稲	1.0 ha	ha	水稲	1.0 ha	ha	190	
利用者		水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	191	
認農		水稲	3.7 ha	ha	水稲	3.7 ha	ha	192	
利用者		水稲	3.8 ha	ha	水稲	3.8 ha	ha	193	
利用者		水稲	1.4 ha	ha	水稲	1.4 ha	ha	234	
利用者		水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	235	
利用者		水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha	236	
利用者		水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha	237	
利用者		露地野菜	0.5 ha	ha	露地野菜	0.5 ha	ha	223	
利用者		水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha	238	
計	33経営体		158.1 ha	0 ha		158.1 ha	0 ha		